

競技に関する注意事項

1. 各団体代表者(学校については引率教員)は、競技の招集時刻までに受付を済ませておく(受付がない場合、競技者は競技に出場できない)。
2. 本大会は 2019 年度日本陸上競技連盟競技規則によって行う。
3. 招集、リレーのオーダー用紙提出について
 - (1) 招集時間は競技開始時間を基準とし、トラック競技は 40 分前、フィールド競技は 50 分前より招集を開始し、トラック競技は 20 分前、フィールド競技は 30 分前に招集を完了する。ただし棒高跳は 90 分前から開始し、60 分前に完了する。
 - (2) リレーのオーダー用紙は、招集完了時刻の 60 分前までに提出する。
 - (3) 招集場所、オーダー用紙提出場所は、100m スタート地点の後方に設ける。
4. ナンバーカードについて
 - (1) ユニフォームの胸、背に確実につける。ただし跳躍競技は、胸または背につけるだけでよい。
 - (2) トラック競技は、招集時にレーンナンバーによる「腰ナンバーカード」を貸与する。ランニングパシツの右横やや後方に、明確に数字が読めるようにつける。
 - (3) 3000m、5000m、5000mW は「腰ナンバーカード」を左右両方につける。
 - (4) 腰ナンバーカードは、フィニッシュ後直ちに係員に返却する。
5. 競技について
 - (1) トラック競技の走路順・フィールド競技順は、プログラム記載順とする。
 - (2) 競技者の変更はいつさい認めない。
 - (3) 使用器具は、原則として競技場備えつけのものを使用する。ただし、やり投のやりについては、検査を受けて使用することができる。
 - (4) 全天候走路なので、トラック・フィールド共スパイクのピンの長さは 9mm 以下とする。ただし、走高跳・やり投は 12mm 以下とする。
 - (5) 400m までのトラック競技では、フィニッシュした後も他の競技者の安全確保のために、自分に割り当てられたレーン(曲走路)で減速し止まる。
 - (6) 3000m、5000m ではグループスタートを実施する。招集が完了し、出場者が確定してからグループを分ける。
 - (7) 競技運営上、5000m は 25 分、3000m は 14 分、5000mW は 40 分で競技を打ち切る。
 - (8) 三段跳びの踏み切り板は、男子 11m、女子 9m とする。
 - (9) 競技運営上、フィールド競技の 2 回目以後の試技で、計測ラインを設ける場合がある。
 - (10) 走高跳と棒高跳を除くフィールド競技の試技数は 3 回とする。
 - (11) 走高跳、棒高跳については 1 位決定戦を行わない。

(12) 4×400mRについて、複数エントリーをしている団体については、同一組に出場する場合はチームが識別できるようにすること。

(13) 棒高跳について、申請記録が5m40未満の選手は棒高跳Aで、5m40以上の選手は棒高跳Bで実施する。日程が違うので注意すること。

6. その他

- (1) 役員及び開場前の準備を依頼された学校の生徒以外は、開門前に競技場内に入場しない。競技中は、正面本部前の通行は禁止。また、競技終了後は、すみやかに競技場を出る。
- (2) 各団体の待機場所は、スタンドの上を原則とする。本部以外の中央より北側のスペースの部屋は、待機場所として認めるが、応援についてはスタンドから行う。また、中央入口より北側の軒下のスペースは待機場所として認めない。
- (3) ウォーミングアップ場は特に設定していないが、安全に留意し、競技及び競技運営に支障のない場所で行う(競技役員の指示に従う)。
- (4) 競技会における怪我等については、応急処置を行うが、以後の責任は負わない。
- (5) 貴重品・衣服等の管理は、各団体で責任を持って行う。
- (6) ゴミの処理は、各団体で責任を持って確実に行う。詳しくは、時間プロの前のページを見ること。
- (7) メインスタンドには原則テントを使用しない。その他の場所でのテントを使用する場合、風で飛ばないように注意すること。
- (8) 本大会の清掃当番校は1日目 **愛教大附属高、愛産大三河高** 2日目**杜若高、光ヶ丘女子高** です。競技終了後、本部前に集合して下さい。